総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成29年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　⑥まちづくり等分野（2/3）

	総合評価 （ⅠとⅡとⅢを1：1：2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 （柏市）	4.1	4.7 進捗度 ・各主体の参画による活動の活性化 106% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 395% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 98% 等	3.5 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業 等 地域独自の取組 ・事業推進に向けたプロジェクト連携会議の開催 等	4.0	・適切な方向で行われており、実績も伴っている。 ・指標の変更により、本特区の取り組みの進捗が評価しやすくなった。 ・取り組みの定着が確認されるとともに、着実な進展がみられている。今後の発展・継続を見込んでいくときに、本特区の強みである「公民学連携」の部分を一層強化してゆくことが重要であると思われる。特に「学」との連携については、研究面での相乗効果を図るとともに、学生への教育効果の両面から促進してほしい。 ・公民学連携による持続的な地域運営に関する数値目標（1）-①については、プロジェクトの数だけでなく、中身や継続性が重要と思われる。引き続き動向を注視したい。 ・以前の評価で課題となっていた「自律した都市経営」を支えるベンチャー企業育成についてはさらなる取り組みが必要と思われる。 ・評価指標（4）先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築に関しては、人手不足による施設閉鎖やサービス継続の課題が上がってきており、対応策の検討が必要である。